

## 平成 27 年第 10 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 7 月 24 日（金）

午後 4 時 00 分～午後 5 時 03 分

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 間島委員 齋藤委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課主幹 日下学校給食センター所長

畑島指導室長 高田生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キ  
ャンパス推進室長 飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 26 号	美唄市学校教育施設整備基金条例制定の件
議案第 27 号	美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件
議案第 28 号	美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員会規則制定の件
議案第 29 号	美唄市いじめ問題審議会条例施行規則制定の件
議案第 30 号	いじめ問題審議会委員委嘱の件
議案第 31 号	美唄市文化財保護委員委嘱の件
議案第 32 号	平成 28 年度から使用する中学校用教科用図書採択の件
その他 1	平成 27 年第 2 回市議会定例会一般質問について

## 概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成 27 年第 10 回美唄市教育委員会議を開会いたします。

順序第 1 会議署名委員に、齋藤委員を指名します。

次に、順序第 2 会期の決定につきましては、本日 1 日とします。

次に、順序第 3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●伊藤教育部長 ※教育長報告（添付資料 別紙 1）

※行事報告・行事予定説明（添付資料 別紙 2）

●高橋委員長 教育長報告、並びに行事報告・行事予定について事務局から説明がありました。何か質問はありませんか。

次に、議案第 26 号 美唄市学校教育施設整備基金条例制定の件を議題といたします。

●阿部学務課長 それでは、議案第 26 号 美唄市学校教育施設整備基金条例制定の件を説明いたします。本件につきましては、平成 25 年 3 月 31 日統合に伴い廃校となりました旧西美唄小学校の校舎、及び屋内運動場を霊芝栽培工場として、央幸設備工場株式会社に有償譲渡することに伴い、文部科学省に対して旧西美唄小学校の財産処分を申請したところ、国庫納付相当以上の基金を積立ることを条件に、財産処分が承認されました。このことから、美唄市学校教育施設整備基金条例を制定するものでございます。条例の第 1 条につきましては（設置）ということで、美唄市の学校教育の施設の整備に必要な資金を充てることを説明しております。第 2 条から第 5 条までは基金の（積立）、（管理）、（運用益金の処理）、（繰替運用）について規定しております。第 6 条は（処分）ということで、学校教育施設整備に充てる場合については、基金の全部、あるいは一部を処分する場合について、一般会計の歳入歳出予算の当初予算か補正予算に計上しなければならないことを規定しております。第 7 条（委任）につきましては、条例の施行に関して必要な事項は市長が別に定めることとしております。なお、施行期日については、公布の日からとしております。基金の積立額に関しては、売買物件の建物、土地の譲渡価格 1,049 万円のうち、校舎と体育館の譲渡価格 490 万円に係る部分の補助金相当額 262 万 2,845 円以上を基金に積立てるのを条件とされております。基金条例については市議会定例会において、提案したいと考えております。以上です。

●高橋委員長 ただいまの件につきまして、何かご質問等はありませんか。

●伊藤教育部長 補足説明させていただきます。西美唄小学校の校舎と体育館については、国の補助金が入っていますので、これを売却することによって、以前は補助金を返還しなければならなかったのですが、現在は制度が緩和されていまして、補助金の返還は要しないこととなっております。その代り、売り上げた売却益相当額を、基金として積立なさいということになっておりますので、この条例をつくり、基金に積み立てることにしていますが、この基金の活用については、学校施設の整備に使っていいですということになっておりますので、売上代金を、市内の小中学校の施設整備に、今後、充てるということになります。それから、今回、売却する対象としては校舎と体育館、グラウンド、校長・教頭住宅を含めての売却ということです。以上です。

●高橋委員長 この件につきまして、質問ありますか。

●齋藤委員 木造の方の旧西美唄小学校のグラウンドは売却対象外だったのですか。

●伊藤教育部長 はい。

●齋藤委員 先ほど、1,049 万円と金額のことを言っていましたが、グラウンドと校舎と、体育館、管理者住宅を売却するということでもいいですか。

●阿部学務課長 付帯設備として体育館の横に屋外器具庫とか幾つかあるのですが、それらも含めて一式ということです。先ほど、部長から説明がありましたが、土地については、市の土地ですので、これについては国費が入っておりません。国費が入っているのは、校舎と体育館だけになりますので、その売り上げ額の中の相当額について、国に納めないで、市の基金を積み立てなさいということになっております。

●間島委員 金額を聞き、随分安く感じましたが。

●阿部学務課長 金額については、不動産鑑定士の鑑定結果、そのままの金額になっています。

●高橋委員長 ほかに質問ございませんか。

なければ、議案第 26 号 美唄市学校教育施設整備基金条例制定の件は、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、議案のとおり可決いたします。

次に、議案第 27 号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件を議題といたします。

●高田生涯学習課長 議案第 27 号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件に

ついて、ご説明をいたします。本市における放課後児童施設は平成 23 年度に、全小学校区に実施が拡充されましたが、最も歴史が古い南美唄小学校区の放課後児童施設は、その中で唯一、学校外施設となっております。現在は、南美唄小学校から約 800 メートル離れた南美唄コミュニティセンター内を使用して実施しております。そのため、通所する児童に対しましては、絶えず、交通事故、悪天候、不審者等の不安がありましたことから、これらの危険から児童を保護するために、施設を南美唄小学校の校舎内に移転することとし、施設の位置を変更する条例改正を第 3 回市議会定例会に、提案をしたいと考えております。移転先につきましては、南美唄小学校 1 階の生活科室を放課後児童施設に転用することとしておりますが、面積につきましては、64 平米ありますので、美唄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に基づく、定員 30 人ベースでの最低基準であります 49.5 平米を上回ります。それで、要件を満たすことになりますし、職員につきましても、現行体制のまま、新施設に異動することとしています。施行期日につきましては、平成 27 年 10 月 1 日としておりますが、校舎内の施設は、学校の夏季休業中に移転準備を行いますことから、新施設への移動は、2 学期始業日の 8 月 19 日から行うこととしております。条例改正施行期日前日の 9 月 30 日までの間は、仮移転という位置付をいたしまして、必要な整備を引き続き行うことといたしまして、それが、全て完了する 10 月 1 日からを本移転とするものでございます。なお、パブリックコメントの募集につきましては、改正内容が施設の位置の変更のみでありますことから、実施しないこととしております。以上、よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいま、説明ありましたが、委員さんの方から何かご質問はございますか。

なければ、議案第 27 号 美唄市放課後児童施設条例の一部改正の件につきましては、議案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、議案のとおり可決いたします。

次に、議案第 28 号 美唄市私立幼稚園利用者負担額に関する教育委員規則制定の件を議題といたします。

●阿部学務課長 それでは、議案第 28 号 美唄市私立幼稚園の利用者負担額に関する教育委員規則制定の件について、ご説明させていただきます。本件は、平成 27 年 4 月 1 日から実施されております、子ども・子育て支援法に基づく新制度に移行する私立幼稚園の利用者負担額については、これまでは、幼稚園が独自に設定し

ていた保育料を、今度から保護者の所得に応じた保育料に変更されることとなりました。この保育料については、市が設定することになります。別添の資料をご覧ください。私立幼稚園の状況について、内容を含めながら説明させていただきたいと思います。はじめに、美唄市内の私立幼稚園の入園料と保育料の現状ですが、現在は、私立幼稚園2園ございますが、入園料は30,000万円から35,000円ということになります。これは入園するときに、1度だけ払うものでございます。保育料につきましては、2園とも15,000円となっており、通園バスとお菓子代等については、別途徴収することにしております。(2)ですが、私立幼稚園の平成26年度の就園奨励補助金の適用を受けている園児数についてでございますが、2園合わせた園児数160名のうち152名が、就園奨励の補助金を受け、保育料の軽減を受けているということになります。園児の内訳ですが、めぐみ幼稚園は定数が70名でしたが、26年度は76名いまして、そのうち75名が、就園奨励制度を受けております。アカシヤ幼稚園は定数140名で園児数が84名いまして、うち77名が対象となっております。私立幼稚園に通園させている保護者に対して、経済的な負担を軽減させるため、国の補助を受けて就園奨励制度を行っておりますが、(3)の①から⑤までの階層区分によって、就園奨励費の補助しているところです。夫婦片働きの子供2人の場合を想定した表を作ってみました。生活保護世帯については、国の基準では年額308,000円補助することになります。美唄市の場合は、入園費が30,000円から35,000円で、保育料が15,000円ですので、初年度においては、最大で215,000円の負担になりますが、国の補助額の限度が308,000円のため、215,000円は、そのままの額が補助されることになり、実質、無料ということになります。2番目の非課税世帯についても、272,000円が限度額ですので、初年度の215,000円の負担額は、0円ということになります。非課税世帯については、年間270万円の所得ということになっています。3番目の市民税所得割合が77,100円以下というのは、年間所得でいいますと、360万円で、就園奨励費については、年額115,200円ということで、月額に相当する補助金は9,600円ですので、15,000円から9,600円引きますと、大体、月額5,400円の負担で幼稚園に通っていることになります。4番目の市民税所得割211,200円以下については、年間所得680万円以下ということになって、就園奨励費については、年額62,200円で、月額にしますと5,183円ということで、15,000円から5,183円引きますと9,817円が負担額ということになります。年間所得680万円以上の5番目の世帯につきましては、就園奨励は0円で、幼稚園に納めた保育料は、そのまま負担していただくということになっております。就園奨励費の27年度の予算

につきましては、19,333,000 円を美唄市で予算化しております。そのうち、国費が3分の1入っていますので、6,444,000 円を国費、美唄市の負担は 12,889,000 円となっています。新制度に伴う利用者負担の保育料ですが、現行制度では、私立幼稚園は、私学助成費として国から人件費と教育研究費、管理費、それから借入金の利息等の助成を受けております。これは、国と幼稚園との、直接のやり取りですので、金額については、市としては把握していないところですが、それと、保育料で経営しているということになります。新制度につきましては、施設型給付費と利用者負担額に基づく公定価格というものになります。施設型給付金につきましては、公定価格から利用者負担を差し引いた額となります。その額を国が2分の1、道が4分の1、市が4分の1負担します。利用者負担金については、先ほど申し上げたとおり、保護者の世帯の状況に応じた利用者負担額を徴収することになりますが、新制度については就園奨励費の補助制度がなくなってしまう。3番目の新制度に伴う保育料の設定についてですが、階層区分が国の基準額というところを見てください。国の基準額5番目の市民税所得割 211,201 円以上というところから、25,700 円となっております。これは就園奨励費を引いて全国平均とすると、この金額になると計算をしています。この基準額以下で市が定めるということになっておりますが、国は全国的に保育料を統一したいことから、この基準に最終的にはもっていくということで考えているようです。そうしますと、国が考えている幼稚園の保育料が非常に高いということになります。現行の保育料が横に書いてあります。16,000 円とありますが、月額 15,000 円と、入学金 35,000 円を 36 か月で割ったものを足すと 15,902 円ということになり切り上げて、仮に 16,000 円としますと、国の基準額と美唄市の私立幼稚園の保育料とでは、大体1万円くらい差があるということになります。今後は、所得に応じた保育料の設定ということになり、国の基準額はありますが、今現在、私立幼稚園に通われている方の就園奨励費を引いた負担額と同じ額を、新制度の保育料として美唄市は定めたいと考えております。アカシヤ幼稚園、めぐみ幼稚園の2園とも平成27年度4月1日から新制度には移っておりません。新制度に移るか移らないかは、幼稚園の意思で決定できますが、28年度以降移るかは、今、検討している状況です。私立幼稚園が新制度に移っているのは、27年度はじめでは22%で、移るかどうかを検討しているのは49%ということで聞いております。現行の保育料と新しい保育料が変わらないようにしたいということについては、アカシヤ幼稚園、めぐみ幼稚園の、どちらか一方が新しい制度に移り、国の基準額のとおりにすると、保育料に相当大きな差が出てきます。そういうことは、避けたいと思いますので、現行の保育料に合わせた金額を保

育料の設定にしたいと考えております。規則の別表に金額がありますが、区分1から区分5までのところで、生活保護を受けている世帯については負担額を0円に、市民税非課税世帯については就園奨励費を引いた額で0円にしたいということと、区分の3、4、5についても、現行の就園奨励費を引いた金額を保育料として設定したいということで、0円から16,000円と考えております。資料に戻りまして、最後の6番目の市立幼稚園の保育料があります。これは平成26年度までは、市立栄幼稚園で月額7,700円という金額で設定していましたが、平成27年4月から新制度に移行したことに伴いまして、就園奨励制度は廃止されたのですが、就園奨励制度の補助金を考慮した上で、0円から9,600円と設定しました。これは、保育料の額は市町村民税の税額が変わらなければ、負担が増えないように考慮して設定したこともあり、この趣旨を私立幼稚園の保育料にも反映したと考えております。この規則につきましては、公布の日から施行することになりますが、現在、私立幼稚園2園は、新制度に移行しておりませんので、規則は制定しますが、保育料は適用されませんので、私立幼稚園が独自に設定しております保育料が適用されていて、平成28年度以降、新制度に移行した場合、市が設定する規則の保育料が適用されることになります。以上です。

●高橋委員長 今、説明がございましたが、委員さんの方から質問等ありますか。

●齋藤委員 要するに、保護者負担額を変えないような制度を作ったということでよろしいでしょうか。

●阿部学務課長 はい。

●高橋委員長 ほかに質問はありませんか。

なければ、議案第28号 美唄市私立幼稚園の利用者の負担額に関する教育委員会規則制定の件については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案のとおり可決いたします。

次に、議案第29号 美唄市いじめ問題審議会条例施行規則制定の件を議題といたします。

●阿部学務課長 それでは、議案第29号 美唄市いじめ問題審議会条例施行規則制定の件について、ご説明します。本件は、美唄市いじめ問題審議会条例の施行に関して、規則を制定するものでございます。第1条（趣旨）については審議会の施行に関し、必要な事項を定めようとするものです。第2条（会議の議長）につきましては、条例第6条の規定する、会長をもって充てることとしております。第3条（関係者の出席等）につきましては、会長は必要があると認めるときは、関係者の

出席を求めて、その意見、もしくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができることとしております。第4条（報告）につきましては、条例第3条第2号のいじめに関する重大事態に係る調査の審議が終了した時には、速やかにその結果を教育委員会に報告することを規定としております。第5章（庶務）につきましては、審議会の庶務は、教育委員会指導室において行うものとしております。第6条（補則）につきましては、必要な事項につきましては、会長が審議会に諮って定めようとするものでございます。審議会にかかって定める事項について想定される事項につきましては、第1回の会議において、審議会の会議録の公開の方法、いじめの内容につきましては個人情報が含まれておりますので、非公開となると思います。その他に、校長等に来てご審議いただき、定めるものと考えております。以上です。

●高橋委員長 ただいま説明がありましたが、委員の皆さん何か質問ございますか。  
なければ、議案第29号 美唄市いじめ問題審議会条例施行規則制定の件につきましては、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第30号 いじめ問題審議会委員委嘱の件について、議題といたします。

●阿部学務課長 議案第30号 いじめ問題審議会委員委嘱の件を説明いたします。本件は、美唄市いじめ問題審議会条例の第5条の規定により、いじめ問題審議会委員を委嘱しようとするものでございます。条例の第4条の規定により審議会の委員は、5人の委員で構成することとなっております。学識経験者、いじめ防止等に関する知見を有する者、前項に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者の中から、委嘱することとしております。委嘱する委員につきましては、美唄市医師会から花田亜希子先生、退職校長会から適応教室指導員の吉田英孝氏、美唄市PTA連合会からは峰延中学校PTA会長の中村呂仁氏、スクールカウンセラーの石川正人氏、学識経験者からは札幌国際大学の平野良明教授。以上5名ということで委嘱することと考えております。以上です。

●高橋委員長 ただいま説明がありましたが、何かご質問はあるでしょうか。

なければ、議案第30号 いじめ問題審議会委員委嘱の件につきましては、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案のとおり可決いたします。



次に、議案第３１号 美唄市文化財保護委員委嘱の件について議題といたします。

●高田生涯学習課長 議案第３１号 美唄市文化財保護委員委嘱の件につきまして、説明をいたします。現在、文化財保護委員は資料の方にございますとおり、平成２４年１０月１日付で選出された５名をもって構成されているところでありますが、近年、文化財の保護に関しましては、豪雪災害で浮き彫りになりました木造建築物の維持管理、保存が大きな課題となっておりまして、文化財保護委員の活動におきましても、ここ２年ほどは、他の自治体における維持管理の事例を調査してまいりました。今回、さらに木造建築物について、専門的な知見を持った方に参加してもらいたいと考え、新たに１名追加して委嘱しようとするものでございます。委嘱する予定の松本和弘氏におかれましては、市内で建築業を営まれておりまして、一般社団法人北海道建築士会空知支部美唄分会に所属されております。任期につきましては、ほかの委員５名の任期が今年の９月３０日をもって満了することから、その期限に合わせ、９月３０日までといたしたいと存じます。その後、他の委員と合わせて、改めて委嘱することといたしたいと思います。以上でございます。

●高橋委員長 ただいまの件につきまして、何かご質問等はありませんか。

なければ、ただいまの議案第３１号 美唄市文化財保護委員委嘱の件につきましては原案とおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案とおり可決いたします。

次に、議案第３２号 平成２８年度から使用する中学校用教科用図書採択の件を議題といたします。

●畑島指導室長 議案第３２号 平成２８年度から使用する中学校用教科用図書採択の件につきまして、提案理由をご説明いたします。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第１３条の規定により、採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科書を定めなければならないと規定されております。同一地区内の市町村の教育委員会は、規約を定め、教科用図書採択地区について協議を行うための協議会を設置することになっており、本市につきましては、２３市町で構成する北海道第５採択地区教科用図書採択教育委員会協議会に加入し、教科用図書の採択を行っているところであります。議案第３２号の最終ページに平成２８年度から使用する中学校用教科用図書の一覧を添付しておりますが、この図書名につきましては、同協議会において、各種目の調査研究報告、及び展示会の意見を参考に全会一致で決定したものです、平成２８年度から使用する中学校用教科用図書に関わり、別表にある全ての種目及び特別支援教育で使用する教材用図書の

採択をお願いいたします。以上でございます。

●高橋委員長 ただいま説明がありましたが、委員さんの方からご質問等とかございませんか。

●森田委員 前回まで使っていた図書と、違うものを選んだというところはありませんか。

●早瀬教育長 変わっていません。

●高橋委員長 ほか、何か質問ありますか。

なければ、議案第32号 平成28年度から使用する中学校用教科用図書採択の件については、原案とおり可決してよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは原案のとおり可決いたします。

次に、その他1 平成27年第2回市議会定例会一般質問に関しての説明を行います。

●伊藤教育部長 それでは、その他1 一般質問の内容についてご説明させていただきます。今回、7月6日と7日の2日間に分けて一般質問がございました。全部で9人の議員さんの質問がございまして、うち6人が、教育委員関連の質問でした。内容につきまして、資料から説明させていただきます。

※一般質問、答弁内容説明（添付資料 別紙3）

●高橋委員長 ただいま説明がございましたが、この件につきまして何か質問ございませんか。

なければ、その他1 平成27年度第2回市議会定例会一般質問については終わります。それではこれで議事はすべて終了いたしました。ほか何かありますか。

●伊藤教育部長 事務局からはありません。

●間島委員 一つ、よろしいですか。

図書館長さんに聞きたいのですが、報道で出ている「絶歌」という本ですが、美唄市の図書館では購入されているのですか。

●飯野図書館長 要望があれば購入します。

●間島委員 まだ、購入はされていないということですか。

●飯野図書館長 はい。

●間島委員 要望がないということですか。

●飯野図書館長 要望は1件ありました。それで、今、購入の手続きをしているところです。今後については、成人向けにするか、未成年の閲覧をどうするかも含め

て、図書館内できちんと協議してまいりたいと考えております。

●間島委員 それは、閲覧にするかどうかを含めてですか。

●飯野図書館長 はい。

報道等では、税金で購入するのは不適當という意見も出ていたりして、市民の図書館に必要なのかどうかですが、道立図書館では購入しないと新聞報道でもありましたし、札幌の中央図書館につきましては、市民も知る権利があるということで、札幌中央図書館では購入して、市民のために貸し出しもしている状況です。岩見沢市も、購入等は検討していると新聞報道の中でありました。美唄市は、最終的に司書と話し合った段階で、要望が出たら購入しようという考え方で、現在、購入の手続きを進めている段階です。

●高橋委員長 ほか、何かございませんか。

なければ、これを持ちまして、本日の議事については終了とさせていただきます。

これで、平成 27 年第 10 回美唄市教育委員会議事を終わります。ご苦労様でした。

17:03 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 6 月 17 日

至 平成 27 年 7 月 23 日

区 分	会 議 等	
6月17日	第 8 回教育委員会議	教育委員室
17日	「清掃用雑巾」寄贈（コミュニティホーム美唄）	教育長室
19日	美唄市特別支援教育連携協議会	大会議室 A
21日	ファミリーサイクリング in 美唄	皆楽公園（月形町）
23日	文化庁長官表彰授与式	アルテピアッツァ美唄
24日	感謝状贈呈（こぶし建設 他 5 社）	市長応接室
29日	第 1 回学力向上プロジェクトチーム会議	教育委員室
30日	第 2 回市議会定例会本会議（～7 月 10 日）	議場ほか
7月1日	第 9 回教育委員会議	
9日	美唄市戦没者追悼式	市民会館
13日	第 1 回空知管内公立小中学校教職員人事推進会議及び 第 2 回空知管内市町教育委員会教育長会議	空知合同庁舎（岩見沢市）
14日	学校等視察訪問（～17 日）	市内幼稚園、小・中学校
15日	感謝状贈呈（美唄中央運送）	市長応接室
16日	北海道中学校体育大会美唄壮行会	大会議室
17日	北海道第 5 採択地区教科用図書採択教育委員会協議会	ホテルはな工房（月形町）
22日	青少年有害環境浄化モニター会議	第 3 会議室
23日	「本」寄贈（美唄ロータリークラブ）	教育長室
23日	平成 27 年度公立高等学校配置計画地域別検討協議会 （第 2 回空知南学区）	岩見沢文化センター（岩見沢市）

上記のとおり報告する。

平成 27 年 7 月 24 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙2】

## 6 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
18	木	第3回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
19	金				
20	土	運動会（栄幼稚園）			
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
21	日	美唄山開き登山会	7:00	美唄ダム駐車場（集合）	市民
		第22回ファミリーサイクリングin美唄	8:30	総合体育館（出発到着）	市民
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
22	月	キッズ・アスリートスクール④	17:00	中央小	市民
23	火	第3回定例教頭会議	9:30	教育委員室	関係者
		文化庁長官表彰授与式	15:00	アルテピアッツァ美唄	関係者
24	水				
25	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
26	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
27	土				
28	日				
29	月				
30	火				

## 7 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	水	加藤真沙子ペイント作品展（～25日）	9:00	郷土史料館	市民
2	木				
3	金				
4	土	美唄サテライト・キャンパス「食と健康の大切さについて」①	10:00	大会議室	市民
5	日				
6	月				
7	火				
8	水				
9	木				
10	金				
11	土	美唄サテライト・キャンパス「食と健康の大切さについて」②	10:00	大会議室	市民
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
12	日				
13	月	第4回定例校長会議	9:30	教育委員室	関係者
		美唄市青少年問題協議会	16:30	大会議室	関係者
14	火				
15	水	キッズ・アスリートスクール⑤	17:00	総合体育館	市民
16	木	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
		ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	市民
17	金	美唄サテライト・キャンパス「オオタニ・アート・キャラバン」	11:20	茶志内小学校	市民
18	土	美唄サテライト・キャンパス「食と健康の大切さについて」③	10:00	大会議室	市民
		おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
19	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	市民
20	月				
21	火	第4回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	関係者
22	水	平成27年度第1回青少年有害環境浄化モニター会議	17:00	第3会議室	関係者
23	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
		キッズ・アスリートスクール⑥	17:00	総合体育館	市民

# 8 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	土	特別展「炭鉱の変遷と人びとの暮らし」(～30日)	9:00	郷土史料館	生涯学習課
		平和図書コーナー開設(～14日)	10:00	図書館 ロビー	図書館
		夏休み子ども映画会	10:00	郷土史料館	生涯学習課
			13:30		
		美唄サテライト・キャンパス「健康なからだを据えなおす」③④	9:00	大会議室	生涯学習課
2	日				
3	月				
4	火				
5	水	子ども会対抗球技大会(～6日)	8:30	総合体育館/市営野球場	生涯学習課
6	木	ブックスタート(7か月児)	13:00	保健センター	図書館
7	金				
8	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
		夏休み子ども映画会	10:00	郷土史料館	生涯学習課
			13:30		
9	日	映画「ジョバンニの島」上映会	9:30	市民会館	生涯学習課
			15:00		
10	月	美唄サテライト・キャンパス「音楽交流によるまちづくり(ふれあいコンサート)」	10:15	進徳・双葉保育園、ゆ～りん館	生涯学習課
11	火	美唄サテライト・キャンパス「音楽交流によるまちづくり(ふれあいコンサート)」	11:15	峰延保育所、アルテアートスペース	生涯学習課
12	水	キッズ・アートスクール	8:00	札幌大谷大学	生涯学習課
13	木				
14	金				
15	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
		夏休み子ども映画会	10:00	郷土史料館	生涯学習課
			13:30		
16	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
17	月				
18	火	特別整理期間(蔵書点検)のため休館(～23日)		図書館	図書館
19	水	キッズ・アスリートスクール⑨	17:00	総合体育館	生涯学習課
20	木	第5回定例校長会議	9:30	教育委員室	指導室
		美唄サテライト・キャンパス「オオタニアートキャラバンin美唄成果発表展」(～25日)	10:00	コアビバイ	生涯学習課
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
		3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
21	金	美唄サテライト・キャンパス「札幌国際大学卓球部による合宿調査研究事業」(～22日)		総合体育館	生涯学習課
22	土	第1回美唄キッズ漢字検定	9:15	市民会館大会議室	生涯学習課
23	日				
24	月				
25	火	第5回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	教育委員室	指導室
26	水	市民カレッジ①	14:00	ピパオイの里プラザ	生涯学習課
27	木				
28	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館 児童室	図書館
29	土	第28回市民歩こう会&すこやかウォーキング	10:00	総合体育館～アルテピアッツァ美唄	生涯学習課
30	日				
31	月	キッズ・アスリートスクール⑩	17:00	中央小学校	生涯学習課

## 【生涯学習課】

街頭指導 27日(木)  
 街頭指導(中高一斉) 21日(金)  
 列車添乗 26日(水)  
 生徒指導交流会 25日(火)

## 【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

・講座～産業系人材養成講座 1講座1回、まちづくりを担う人材養成講座2講座4回  
 市民教養講座1講座2回

吉岡 建二郎議員  
教育委員会学務課

件 名            4    個人情報保護について

中項目           (1)   公共機関での個人情報の取り扱いについて

### 質問内容

#### ②公共機関での個人情報の取り扱いと流出防止策について

・最近の報道では、企業や行政機関の職員が、情報機器の操作ミスや個人情報保護に対する認識不足により、流出する事件が取り上げられており、その保護対策を実施することが、これまで以上に求められていると感じている。

市や小中学校などでは、大量に個人情報を取り扱っているが、紙媒体電子媒体、電子データ等の保護に取り組む姿勢について伺う。

### 答弁内容

（小中学校での個人情報の保護についてであります、）であります、

個人情報の取扱いにつきましては、美唄市個人情報保護条例に基づき、個人情報の漏えい、改ざん、滅失、き損その他の事故を防止しなければならないこととなっております。また、原則として、オンライン結合による個人情報の提供を行ってはならないと定められているところであります。

なお、情報の形態としては、紙媒体、電子媒体、電子データ等のすべてを含めて、同様の取扱いであります。

このような規定に基づき、学校のセキュリティ対策としては、教職員用のパソコンに最新のウィルス対策ソフトを搭載しているほか、ファイヤーウォール等により外部からの侵入を防止する対策を講じているところであります。

また、各学校においては、個人情報を取り扱うルールとして、次の4点について徹底を図っております。

1点目として、個人情報を含むデータの複製を行っていないか、また、校外に持ち出していないか。

2点目として、やむを得ず、複製を必要とする場合や校外に持ち出す場合は、校長の許可を得ているか。

3点目として、一時的であっても、自動車の中などに放置するなどしていないか。

4点目として、個人情報データは、使用目的が終わった時点で消去等を行い、処分しているか。以上の点を校内全体で確認し、個人情報の紛失事故の防止に取り組んでいるところであります。

また、各学校における個人情報紛失の防止については、平成26年7月17日付けの道教委からの通知により、個人情報の紛失事故防止に万全を期すよう具体的な対策が示されており、この通知に基づき、校長会・教頭会を通じて教職員に対し指導しているところであります。

なお、昨年度、個人情報紛失により懲戒処分が行われた事例として、道内の中学校教諭が、管理職の許可なく個人情報を保存したUSBメモリーを校外に持ち出し、帰宅途中に立ち寄った施設の駐車場で車上荒らしに遭い、USBを紛失したケースがありました。

教育委員会としては、このような事例を周知し、啓発するとともに、職場研修やICT研修などを通じて、個人情報の流出や紛失事故の防止対策を徹底するよう各学校に指導しております。



平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

森川 明議員  
教育委員会学務課

件 名            5      中 3 「全国英語テスト」導入方針について

中項目          (1)    中 3 「全国英語テスト」導入方針について

質問内容

文科省は、2019 年度から中学校 3 年生全員を対象とした英語テストの方針を示した。全国学力テストでも指摘されたテストによる序列化、更に詰め込み学習等々、過度の競争をあおる懸念もある。次の点を伺う。

- ① 英語テストに対する教育長の考え方
- ② テストに向け、授業改善の変更はあるのか。
- ③ 都道府県別の成績公表による地域間の競争意識の向上等、教育に負担を押し付けるのではないか。

答弁内容

（中学校における「全国的な学力調査」について）であります、  
1 詳細な内容については、今後、専門家会議で検討されることとなっており、現段階では、報道やホームページに記載されている内容等でした承知していませんが、本年 6 月、文部科学省が、生徒の着実な英語力向上を図るため、「生徒の英語力向上プラン」を策定した旨、発表しております。この中で「読む」「書く」「聞く」「話す」の英語 4 技能を測定する「全国的な学力調査」を実施すること、中学 3 年生を調査の対象とすること、平成 31 年度に導入し

複数年に1回の実施を検討することなどが明らかになりました。私  
といたしましては、国際化やグローバル化の進展の中にあって、小  
学校から高等学校までの円滑な接続を図りながらコミュニケーション  
能力の育成に努めるなど、国の内外で活躍できる人材を育成する  
ため、生徒の英語力を向上させることは、大変、重要なことと受け  
止めております。

2 次に、授業内容についてですが、この調査の実施に向けて、具  
体的に英語の授業内容等が変わってくるのか、現段階では明らか  
にはなっていないものの、授業改善は、学習指導要領に示された内  
容を子どもが着実に習得することを目指し、日常的に取り組むもの  
であることから、常に改善充実、また、更新を図っていくことが重  
要と考えています。

3 次に、公表については、その具体的な方法など、詳細が不明で  
ありますが、調査の結果については、説明責任を果たす上でも、ま  
た学校と家庭とが成果や課題を共有し、改善につなげていく上  
でも、必要なことであると考えております。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

谷村 知重 議員  
教育委員会生涯学習課

件 名            3     教育行政について

中項目          (1)   青少年の健全育成について

質問内容

① 青少年活動の実態と支援状況について

子ども会や青年団体などの活動の実態とそこに対する市の支援の状況について伺う。

答弁内容

（青少年活動の実態と支援状況について ）であります。

本市の子ども会組織は、町内会などの子ども会、これらの子ども会を地域ごとにまとめる美唄、美唄東、南美唄、茶志内、峰延・光珠内、中村の6つの「地区青少年育成協議会」、さらにこれらをまとめる「美唄市子ども会育成連絡協議会」があります。

「地区青少年育成協議会」では、それぞれの地域においてイベントや研修見学会などを実施し地域の青少年の健全育成に努めていただいています。

また、「美唄市子ども会育成連絡協議会」においては、教育委員会主催事業の共催・後援や「地区青少年育成協議会」への事業費助成、空知管内地域子ども会リーダー養成研修会への派遣などの事業を行っております。

教育委員会では、「美唄市子ども会育成連絡協議会」に対し補助金を交付し、その活動を支援しているところであります。

青年団体につきましては、美唄青年会議所、ポプラ会、上西（かみにし）青年会の3団体があると承知しておりますが、連合組織であった「美唄市青年団体連絡協議会」については、平成16年4月に活動を休止されたとお聞きしています。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

谷村 知重 議員  
教育委員会学務課

件 名        3     教育行政について

中項目       (2)     「教育の日」について

質問内容

現在、毎年 11 月 1 日が「北海道教育の日」となっており、道内市町村においては、この日又はその前後に、教育に関する様々な取り組みが行われております。

また、この動きに合わせて、市町村で「教育の日」を定め、同様な活動を行っているところもあり、本市においては、退職校長会の皆さんが、「教育の日」の制定に向けて、検討を進めているとお聞きしています。

子どもの数が少なくなっている中、市民総ぐるみで、教育を考える機会を持つことは、子どもたちの健やかな成長を願い、大切に育むための具体的な行動につなげていく上で、非常に意義深いものと考えております。

過日、退職校長会の皆さんが教育長を訪ね、「教育の日」制定の目的やネットワークづくりの必要性などについて、お話しされたようであります。この「教育の日」に関して、

1 点目は、本市のこれまでの対応状況について

2 点目は、近隣市町での取り組み状況について

3 点目は、本市の対応の方向について

お聞きいたします。

## 答弁内容

(教育の日について) ですが、

①「北海道教育の日」につきましては、家庭、学校、地域社会及び教育委員会などが一体となって教育に関する理解と関心を高めるための様々な取り組みを実施することによって、すべての道民が教育について考え、語り合い、行動する契機となる日として、平成 18 年 11 月に「北海道教育の日」制定推進協議会が宣言したものであります。

これを受けて、北海道教育委員会では、この活動を応援する立場で、関係機関に対する普及啓発や教育フォーラムの開催など、「北海道教育の日」の趣旨に基づいた事業を実施しています。

また、これに関連して、国では、昭和 34 年に 11 月 1 日から 7 日までの 1 週間を「教育・文化週間」と定め、毎年、教育・文化功労者の表彰や関連行事などを行っております。

「教育の日」を制定している団体数は、全国連合退職校長会による調査では、昨年 12 月現在で、35 都道府県、98 市、59 町、9 村、1 区あり、道内では 24 市町村あるそうであります。

以上のような状況を踏まえ、本市におきましては、毎年 10 月から 11 月にかけて、市民体育祭や市民文化祭、小中学校音楽祭などの様々な行事を実施しておりますものの、「北海道教育の日」の関連事業や協賛事業という位置づけには、していませんでした。

②次に、近隣市町での取り組み状況についてであります、

空知管内では、岩見沢市、砂川市、滝川市、赤平市、月形町、上砂川町の 6 市町がすでに「教育の日」あるいはこれに類したものを定めて、講演会や学校での公開授業、地域参観日、学校給食試食会、コンサート、教育施設の無料開放などの関連事業や協賛事業を実施しております。

③次に、本市の対応の方向についてであります、

「教育の日」の制定に関して、美唄市退職校長会からお話しがあ

ました。その中で、北海道退職校長会が「教育の日」制定を重点として活動を進めていることや、空知管内市町の制定状況、市内の各種団体による子どもたちに関する活動の状況など踏まえて、本市の「教育の日」制定に向けた準備を進めたいこと、また、そのために、市内関係団体によるネットワークづくりが重要であることなどの考え方を示されました。

私といたしましては、市民の皆さんが教育について関心を深め、市民総ぐるみで子どもたちを大切に育んでいただくことは、大変、重要であり、ありがたいことと感じましたので、その趣旨には、賛同する旨お伝えしたところであります。

今後、教育委員会では、この動きに関わりを持たせていただきながら、市民の皆さんとともに、両輪のひとつとして、教育に関して考える機会をつくり、教育に関する理解を深めつつ、美唄市全体で子どもたちを守り、その成長を支える風土づくりを進めてまいりたいと考えております。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

再質問

谷村 知重 議員  
教育委員会学務課

件 名            3    教育行政について

中項目          (2)    「教育の日」について

質問内容

- ①かつて 4 つの団体が集まって協議をしていたと聞いたが、これらの団体についての設立趣旨、目的について伺う。
- ②これらの団体に対して、市教委としての連携についての考え方を伺う。

答弁内容

（ 4 つの団体について ） であります、  
はじめに「せわずき・せわやき隊」は、地域における子どもや子育て家族を応援するボランティア団体で、地域の子どもや子育て家族に声かけをするなどの見守りや安全活動を行っている団体であります。次に「子ども会育成連絡協議会」は、青少年育成組織の連絡協調を図るとともに、地域子ども会の発展向上と健全成長に寄与すること目的とした組織であります。次に「青少年指導対策部会」は、青少年の指導対策の推進並びに環境浄化についての実践交流・提供に努め、地域青少年の健全育成に寄与することを目的とした組織であります。

次に「要保護児童対策地域協議会」は、要保護児童等に対する支援に関する協議や関係機関との連絡調整を行っている会議体でありま



す。

教育委員会といたしましては、これらの団体の連携について、退職校長会がこれから進めようとしている「教育の日」制定に向けた準備活動やネットワークづくりと関連してくるものと考えておりますので、その中で、それぞれの団体の自主性を尊重しつつ、協力してまいりたいと考えております。

## 平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

吉岡 文子 議員  
教育委員会学務課

件 名	4	18 歳選挙権について
中項目	(2)	教育機関においての法改正の取り扱いについて

### 質問内容

教育長に、教育機関においての法改正の取り扱いについて、お聞きします。公職選挙法の改正により、18 歳から選挙権が与えられることになったことにより、学校ではどのような取り扱いが必要となるのか、国からの通知などが来ているのか伺います。

### 答弁内容

（教育機関における取扱いについて）であります、改正公職選挙法に関連した国からの通知等は届いておりませんが、文部科学省では、昨年 11 月、中央教育審議会に「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」を諮問し、高等学校における新たな科目等について検討されることとなっております。また、この諮問に関しては、来年度答申、2020 年度以降、新しい小中高校の学習指導要領の順次実施を目指すとされております。

なお、文部科学省や総務省は、今年度、選挙制度などを詳しく解説する新たな副教材を作成し、すべての高校生を対象に配布するとともに、教員向けの資料も合わせて作成し、主権者教育に関する授業を、政治的な中立性にも十分配慮しながら行う場合の留意点などを示す予定であるとの報道も目にしたところであります。

教育委員会といたしましては、以上のような公職選挙法改正に関連した様々な動向を注視してまいりたいと考えております。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目        (1)     「確かな学力育成プランの具現化にむけて」について

質問内容

市長、教育長はじめ、教育委員会の皆様、また、美唄市学力向上プロジェクトチームの皆様方には、日ごろより美唄市の子どもたちのため、熱心に様々な取り組みを頂いているところです。

また、学校の教職員に関しましては、授業や部活、事務処理、生徒指導に夜遅くまで学校に残って、熱心にやってらっしゃる先生方も多く見られますが、教師の負担増について心配もあります。

さて、「確かな学力育成プランの具現化に向けて」について、二点に渡り質問致します。

① まず、美唄市の児童生徒は、学力が二極に分かれる傾向にあるという実態があります。そこで、長期休業中や土曜日などを利用して、地域人材、大学生による勉強会を開催して学習サポートを行っているところではありますが、本当に参加が必要な児童生徒が集まっていないのが実態です。本来、受講してほしい児童生徒を集めるための工夫が必要と思いますが、如何か伺います。

② また、中学生でも掛け算や割り算から分からなくなったなど、どの辺りから、つまりいてしまったのか、そこまで戻って学習を行う小・中学生の「学び直しの機会」を設定する必要があると感じますが、何か検討していることはあるのか伺います。

## 答弁内容

（「確かな学力育成プランの具現化にむけて」 ）であります。

①美唄市の小中学校においては、子どもが自ら考え判断して主体的に表現するなどの力を育むため、体験的な学習や問題解決的な学習を積極的に取り入れるなど、子どもの実態に応じた特色ある授業づくりに取り組んでいます。特に、基礎・基本の確実な定着に向けては、個別指導や習熟度別指導の導入をはじめ、教師同士が協力して指導するなど、きめ細かな指導に努めているところです。また、美唄市の特色ある教育活動として、複式学級設置の小学校に対して学習支援員を配置し、高学年の社会科と理科の学習において、学年ごとに授業が行えるようにしているところです。さらに、授業でのつまづきを補うため、教員が休み時間などを利用して個別に指導したり、地域の人材を活用して放課後学習に取り組むなど、各学校の状況に応じて行う補充的な学習支援については、市内全ての学校で実施しているところです。この中で、放課後学習については、学年が進むにつれて活動の範囲が広がることから参加者が少なくなる傾向にあります。教師やボランティアの方の熱心な指導により、基礎的な学力が高まった子どもがいるとの報告を受けております。あわせて、「学校サポーター派遣事業」や「学校支援地域本部事業」を活用するなどして、長期休業期間中に補充的な学習に取り組む機会を設定している学校は小学校で4校、中学校は全校で実施しているところです。このように、すべての子どもに「分かるよろこび」を味わわせ、学習に対する興味・関心を高めるとともに、自主的、自発的に学習する資質を育てるためには、授業はもとより、授業以外での学習機会の充実も重要になってくることから、つまづき感のある子どもが、一人でも多く、学ぶ意欲をもって補充的な学習の機会に参加できるよう、研修や啓発資料等をもとに、今後も学校や家庭に働きかけ、全体的な底上げを図りながら、学力向上に取り組んで参ります。

②次に、子どもたちがつまずきやすい内容の確実な習得を図るための「繰り返し学習」についてですが、このことについても、子どもがつまずきを克服し、自信をもって学習に取り組むためには、欠かせない学習活動の一つであると考えています。内容の系統性や連続性が比較的はっきりしている算数・数学を例に挙げて申しますと、既に学習し終えた内容であっても、子どもの理解の度合いに応じて継続して指導する必要がある、そのため、各学年で指導した基礎的・基本的な内容が着実に身に付いているかどうかを適切に評価し指導につなげているところです。また、学年間の指導内容を円滑に接続させるため、適切な反復や学び直しによる学習を進める必要があることから、小中学校間の情報連携やいわゆる出前授業等による教科指導上の交流にも取り組んでいる学校もあり、さらには、他の教科も含め、4月当初に集中して補充学習を行うなど、学び直しの機会を設定している学校もあります。教育委員会といたしましては、それぞれの学校で実践している優れた事例を取りまとめて「学力向上育成プラン」に反映するとともに、「家庭学習の手引き」が各家庭で一層有効に活用できるよう啓発するなどして、基本的な生活習慣や家庭学習の定着を働き掛け、学力の向上に引き続き取り組んで参ります。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

再質問

川上 美樹 議員  
教育委員会学務課

件 名            3    教育行政について

中項目        (1)    「確かな学力育成プランの具現化にむけて」について

質問内容

近隣の市の中学校では、昨年の 9 月から今年 3 月までの半年間、民間の講師を放課後に呼んで特別授業を行ったところ、多くの生徒が参加し、好評を得たということです。学校の教職員の負担軽減のためにも、美唄市では今後どのような取り組みを検討しているのか伺います。

答弁内容

（今後の取組について）であります、  
現在、地域ボランティアや退職校長会など支援を受けて「放課後学習」を実践している学校もありますが、市全体として学習支援体制を強化していくため、既に実施している他市町の取組なども参考にしながら、実現の可能性について検討して参ります。

## 平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

丸山 文靖 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目        (1)    子ども安全を守る意識の醸成について

### 質問内容

本年に入り、子どもたちが犠牲になる事件や事故が続いていることは、私だけではなく、多くの方々が胸を痛めていることと思います。2 月には、川崎市で中 1 の男子が殺害された事件、6 月には、愛知県刈谷市で高 1 の男子が集団暴行を受け溺死した事件、岩見沢市では登校中の小学生が巻き込まれる交通事故、そして、砂川市で中学生と高校生を含む、1 家 5 人が死傷する交通事故、また、和寒町ではスクールバスを降りた小 3 の女の子が後続車にはねられ亡くなった事故など、相次いで痛ましい出来事が起こっています。

このような事件や事故が起きた背景や原因は、それぞれ異なりますが、なぜ、弱い立場の子どもたちが犠牲にならなければならなかったのか、というやり場のない憤りが、ふつふつとわき上がってくるというのが、私の偽らざる心境です。

本市においては、勿論、このような痛ましい出来事はないものの、不安を感じている保護者の方はいらっしゃるのではないかと思います。

そこで、私は、いじめの防止や交通安全対策、子どもの見守りなど、具体的な対策が重要であると思うものの、更にその根底として、「社会全体で子どもたちを守る」という大人一人ひとりの強い意志や連



携が、なによりも、欠かせないと考えておりますが、そのような意識の醸成や啓発の取組みについて、教育委員会としては、どのようにお考えなのか、お伺いいたします。

#### 答弁内容

（子どもの安全を守る意識の醸成について）であります、子どもたちが犠牲となった多くの事件や事故に関して、私も胸が痛くなる思いで、報道に接しております。

本市におきましては、子どもたちの登下校の見守りについては「せわずき・せわやき隊」の皆さんのご協力で実施していただき、交通安全指導についてはスクールバスの乗降を含め、学校と地域、保護者の皆さんと一緒に取組み、また、美唄警察署による登下校時のパトロールを行っていただくなど、地域全体で、子どもたちの安全を守るための具体的な取組みが進められているところであります。

また、青少年センターでは、地域の育成協議会や指導対策部会の皆さんのご協力をいただきながら、非行防止を含めて、子どもたちの生活安全や交通安全に関する巡回や指導を継続しております。

市全体の啓発活動として、交通安全に関しては、交通安全3ゼロ運動の中で、大人も子どもも、「事故を起こさない」「あわない」「あわせない」を基本として、恒常的な活動が続けてられており、防犯に関しては、美唄警察署をはじめ、防犯協会など、関係団体のご努力により、地域全体で犯罪を防ぐための活動が継続されているところであります。

学校での取組みとしては、不審者等に対して、子どもたちが自ら危険な状況を回避する能力を身につけることができるよう、防犯・防災教育や訓練などを通して、危機回避能力の向上を図っております。教育委員会といたしましては、このような取組みとともに、いじめの未然防止が重要であると考えております。小さいいじめから大きな事件や事故へとつながらないよう、地域全体での取組みが不可欠であると考えており、「心と心をつなぐ教育」についての研究と実

実践を継続するとともに、市として「美唄市いじめ防止基本方針」を策定して取り組んでいるほか、今定例会にご提案している「美唄市いじめ問題審議会」を設置し、専門家からの指導を受けながら、この問題に取り組んでまいりたいと考えております。

今後とも、少子化が進む中、子どもたちをまちの宝として、地域社会全体で守っていくという意識や機運を、学校や市の関係課のほか、警察をはじめ、様々な機関や団体の皆さんとともに、一層高めていき、安全な環境の中で子どもたちを育むことができるよう、具体的な取り組みとともに、情報の発信や啓発活動にも努めてまいりたいと考えております。

## 平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

丸山 文靖 議員  
教育委員会学務課

件 名            3      教育行政について

中項目          (2)    美唄サテライト・キャンパス事業について

### 質問内容

この事業については、高橋市長の公約として、企画・実施され、本年度で 4 年目を迎えており、大学の先生の専門的な講義や実技の指導に対して、受講した多くの皆さんが学ぶ意欲を充足され、高い満足感を得られているのではないかと思います。

さて、本年度からは、事業を担当するセクションが、市の企画課から、教育委員会に変更されたところではありますが、改めて、教育委員会が担当する意義と、今後の事業の展開の仕方について、教育長の考え方をお伺いいたします。

### 答弁内容

（美唄サテライト・キャンパス事業について ） ではありますが、本年度から、この事業の窓口を教育委員会で担当しております。

事業の中では、講座の開設・運営のほかに、協働事業として、幼稚園や小中学校、高校と連携した取り組みを行っております。

講座については、まちづくりや産業を担う人づくりを一つのねらいとして行っていますが、教養を深めるための講座を含め、生涯学習とのつながりが強いという点と、協働事業を実施する際に幼稚園や小中学校、高校と連絡調整を行うことが多い点から、教育委員会

で担当することで、より円滑な実施が可能となると考え、本年度からこの事業の窓口を教育委員会に置くことといたしました。

今後におきましては、この事業を長く続けていく上で、教育委員会のみならず、市の各部が積極的に関わる体制づくりを進めていくとともに、多くの方々に受講していただくため、講座内容を時代状況や受講者ニーズに一層適合したものに精選していくことと、講座受講者の皆さんや協働事業に関わった方々が、その成果を生かして、実践活動に取り組むことができるよう、その仕組みについて、検討してまいりたいと考えております。

平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

再質問

丸山 文靖 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目          (2)    美唄サテライト・キャンパス事業について

質問内容

各種講座や協働事業の取組みについては、毎年、成果発表会を行って、市民への活動内容や成果の紹介と検証をされているので、私としては、非常にいい取組みであると思っておりますし、毎年、講座の受講を楽しみにしている方もいるとお聞きしています。

是非、市民の皆さんの期待に応えて、まちの活性化のため、その成果を広げ、さらに実のあるものにしていただきたいと願っています。

私のイメージとしては、幕末において、松下村塾など、諸藩の藩校が多数つくられたように、大きな時代の転換点には、向学心の高揚と時代を動かす人材の登場というダイナミックな動きが出てくるわけであります。

本市においても、新しい時代に活躍する人材がこの事業から生まれてくることを大いに期待したいと思っています。

私としては、子どもたちへの様々な経験を提供できるような動き、そして、お答えにあったように、受講した方々の具体的なまちづくりなどの活動への参加が重要ではないかと考えております。

先日、まさに、これに関連する動きとして、「文化芸術創造都市部門」で文化庁長官表彰を本市が受けるという、大きな動きがありま

したが、「美唄では、小中学生から大人まで、様々な学びができる」ということをまちの一つのセールスポイントとして、アピールしていくことが、学術・文化の面から、まちの活性化を図る上で、重要ではないかと思いますが、教育長の考えをお伺いいたします。

#### 答弁内容

（美唄サテライト・キャンパス事業について）であります、市民の皆さんの期待もあると思いますし、本市としては、南空知、あるいは空知全体の学びの拠点としての位置づけにしていきたいと思います、考えております。

お尋ねのありました子どもたちへの様々な経験の提供に関しては、昨年、各大学のご協力の下に、卓球の実技指導と大学生との交流試合の実施、美術に関する鑑賞と作品の共同制作の指導、音楽での交流、高校での出前授業などが実現されてきております。今後とも、各大学との協議を重ね、連携を深めつつ、様々な経験を提供できるよう、取り進めてまいりたいと考えております。

また、講座受講者や協働事業に関わった方々の実践活動への結びつきにつきましては、学びから実践へとつながり、そして、実践から次の学びの意欲へとつながるという好循環を目指してまいりたいと考えておりますので、今後、講座修了時に、実践活動に関する意向調査を行い、どのような意向や意欲を持たれているのか、確認をしながら、その方法を十分検討してまいりたいと考えております。

## 平成 27 年 第 2 回 定例会 一般質問

丸山 文靖 議員  
教育委員会学務課

件 名            3     教育行政について

中項目           (3)    教育改革への対応について

### 質問内容

国の教育改革の動きは、私たちが新聞報道などを詳細に見ていても、追いつけないほど、数多くのものが、しかも、矢継ぎ早に、打ち出されていると、感じざるを得ない状況です。

都道府県、市町村ともに、教育委員会としては、対応に追われているのではないかと推察しております。

私が承知している限りでも、道德の教科化、英語教育の充実などの教科での動きのほか、「学校統廃合」や「小中一貫教育」「コミュニティ・スクール」「チーム学校」などといった学校教育制度に関わる動きも出ているようであります。

美唄市教育委員会では、これらの動きへの対応として、今後、どのように考え、行動しようとしているのか、伺いいたします。

### 答弁内容

（教育改革への対応について）であります、  
国におきましては、我が国における教育上の今日的な課題について、教育再生実行会議により、平成 25 年 2 月の第一次提言から本年 5 月の第七次提言まで、多くの提言がなされてきております。  
これを受けて、文部科学省では、中央教育審議会への諮問、答申後

の法案提出や学習指導要領の改定などが行われており、この中で特に、今後、教育委員会として、対応が求められるものとしては、

「コミュニティ・スクール」「小中一貫教育」「チーム学校」そして「学校統廃合」であると受け止めております。

具体的な法案づくりや学習指導要領の改定作業などが、今後行われるものもありますが、教育委員会といたしましては、これらの複雑に関係し合う多くの事項を、全体的に調査・研究し、本市の状況を踏まえた対応の方向性を模索する必要があると考えているところであります。

そのため、先月開催しました教育委員会議において、今月、研究組織を立ち上げ、本年12月を目途に、調査・研究のまとめをしていくことといたしました。

このことは、現在、教育委員会議で協議を継続している学校の適正配置の考え方にも、つながるものでありますので、調査・研究成果を十分生かせるよう、取り進めてまいりたいと考えております。